



夢を語ろう、手をつなごう。

しなのめ信用金庫

NEWS RELEASE

令和4年2月3日

しなのめ信用金庫の地方創生支援事業「上信電鉄沿線まちの編集社」による 連作ポスター・ブックレットの制作発表について

しなのめ信用金庫（理事長 横山 慶一）は1月28日（金）、上信電鉄沿線における地域資源や社会性のある取組みなどを「再編集」し、「まち」の魅力や付加価値の向上を目指すことを目的として、地域のデザイナーやクリエイターと取り組んでいる「上信電鉄沿線 まちの編集社」事業の一環として、地域の魅力を発信する連作ポスターとブックレットを制作したとして記者会見を行った。

ポスターは高崎駅から下仁田駅までの上信電鉄全21駅について、それぞれの駅周辺の特徴あるコンテンツ（風景、場所、店舗等）を撮影し、そこにクリエイターがキャッチコピーを付して1枚のポスターとして仕上げている。ポスター全体の構成等を地域で活躍するデザイナーが編集しており、1枚1枚が見事に地域の魅力を表現している。21駅のところ制作したポスターは22枚。「佐野のわたし駅」は台風によって佐野橋が流失し、その後復旧したことで流出時と復旧時の2枚を制作している。ブックレットは22種類の全ポスターをA5判に集約し、イラストで紹介した上信電鉄線マップなどを加えている。

記者会見には同金庫の横山理事長のほか、上信電鉄沿線市町村連絡協議会の会長である榎本富岡市長、甘楽富岡振興局の竹田局長、上信電鉄株式会社の木内社長らが参加した。横山理事長は冒頭、人口減少やデジタル化など、社会経済の成熟化が急速に進んでおり、これまでの人口増加を前提とした意識や制度などから、人口減少を前提としたモデルに転換することが迫られている。こうした中では、地域に今あるものを大切にし、これをどのように維持し、生かしていくのか、という発想や視点が重要であると挨拶した。

制作したポスターは上信電鉄各駅のほか、下仁田道の駅、2月1日から3月4日までは東京日比谷の富国生命本社ビルにおいて掲示する。ブックレットはしなのめ信用金庫の各営業店のほか、東京都、神奈川県、埼玉県の各信用金庫に配付するとともに、富国生命本社ビルや下仁田道の駅において無料配布を行う。

<本件に関するお問い合わせ先>

群馬県高崎市上中居町 58

しなのめ信用金庫 総合企画部

担当：神宮、布施川 TEL：027-330-1175



夢を語ろう、手をつなごう。

しののめ信用金庫

NEWS RELEASE

※記者会見の様子





夢を語ろう、手をつなごう。

しなのめ信用金庫

NEWS RELEASE

※富国生命本社ビルでの掲示

